

市場がうまく機能しない状態は、市場の失敗と呼ばれている。ノーベル経済学賞を受賞した有名な経済学者スティグリッツは、公共経済学のテキストの中で市場の失敗を生じる原因として、次の6つを挙げている。

1. (あ) 競争
2. (い)
3. (う) 性
4. (え) 市場
5. (お)

6.失業とその他の (か) 経済学的な障害

1.の (あ) 競争とは、(き) や寡占などの競争の失敗を指す。大規模な初期投資が必要な産業ではしばしば自然 (き) と呼ばれる状況が生じる。電力産業などに地域 (き) が見られるのは、この自然 (き) で説明できる。電力産業などでは、市場にまかせておくと自然と (き) 状態となり、(き) 企業が (き) 利潤を享受するように価格設定する。(き) による弊害を防ぐために、政府による価格規制が行われている。2.の (い) は、消費の (く) 性や非排除性の性質ゆえに、市場では供給できない。3.の (う) 性も、その財を消費したことによる利益が本人だけでなく社会全体に波及していく場合には、民間市場だけにまかせておくと過小な数量しか提供されない。4.の (え) 市場の例としては、保険市場や資本市場は民間にまかせておくとうまく機能しないという主張がある。たとえば阪神淡路大震災のときに地震を原因とする火災には火災保険が適用されず社会問題化したこともあった。資本市場においても、日本では大手銀行が消費者ローンを提供してこなかったため、サラ金による暴利や厳しい取り立てが横行してきた。このような民間市場の不備を補うために、公的な保険制度や公的融資制度が存在してきたわけだ。ただし、最近では住宅金融公庫の独立行政法人化などの動きに見られるようにこれらの分野での政府による関与は見直しの方向にある。5.の (お) とは、消費者と生産者の間での情報の (け) 性から市場がうまく機能しないことを指す。牛肉偽装事件で露呈したように、消費者にとっては、生産者が表示した産地を確かめるすべはない。輸入肉を国産と偽り販売することがまかり通るような状況では市場はうまく機能しない。政府による監視が必要となるわけだ。6.の失業とその他の (か) 経済学的な障害には、不況期の (こ) 、好況期のインフレなどの問題が存在する。